

北アメリカ州の指導にあたって ～巨大な産業と経済を主題に

● 『学習指導要領解説』の抜粋

世界の諸地域について、以下の(ア)から(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。(ア)アジア (イ)ヨーロッパ (ウ)アフリカ (エ)北アメリカ (オ)南アメリカ (カ)オセアニア

(エ)北アメリカ：＜主題例＞大規模農業と工業の発展
 “なぜアメリカやカナダは農業生産力だけでなく工業生産力も高いのか”という問いを立て、アメリカ合衆国、カナダの世界貿易に占める地位、小麦やトウモロコシの生産と貿易、農産物の生産分布、工業都市の分布、農産物・工業製品の流通システム及び大量消費する人々の暮らしなどを追究すると、巨大な生産と消費の人々の生活様式が分かり、北アメリカの地域的特色の理解につながる。

● 指導上の留意点

北アメリカ州の学習で中心的に取り上げられる国は、アメリカ合衆国であろう。一般に生徒が「アメリカ像」は肯定的なものが多く、従来の教科書の記述もいわば「アメリカ礼賛」といった視点からの内容が強調されていたように見受けられる。

しかし、このワークシートでは、そのようなステレオタイプな「アメリカ像」を揺さぶる視点を意図的に組み込んだ。例えば、「巨大な産業」を中核テーマに据えるにしても、工業都市や農業地域区分をただ暗記させるだけでは、旧態依然の地名物産的な地誌学習と何ら変わりはない。多国籍企業の経済活動について、その負の部分を生徒に提示することも必要であろう。その点で、＜主題例＞はあくまで事例であり、現場教員の問題意識が問われることはいうまでもない。

また、生徒の思考力を高めるために記述スタイルの設問もあるが、解答例をそのまま覚えさせるということではなく、現場での柔軟な活用を期待したい。地図帳などを活用しつつ、豊かな「アメリカ像」を提示できる授業が求められているといえよう。

● ワークシートの単元構成 <想定する時間数：全体で6時間>

時数	単元名	学習内容	主な学習項目	ページ
1	北アメリカ州のあらまし	北アメリカの位置と広がり	北アメリカ大陸、ロッキー山脈、ミシシッピ川 大陸内の気候のちがひ	p.26
2	北アメリカ州の歴史と人々	開拓の歴史 多様な人種	アメリカの領土拡大、ネイティブアメリカン 人種問題、ヒスパニック	p.27
3	北アメリカ州の農業生産	大規模な農業 世界への農産物輸出	機械化、企業的経営 適地適作、アグリビジネス	p.28
4	北アメリカ州の工業と技術	豊かな鉱産資源 工業生産と先端技術	石炭、石油 サンベルト、シリコンバレー、先端技術産業	p.29
5	北アメリカ州の経済と文化	グローバル化した経済 世界に広がるアメリカ文化	多国籍企業 ファストフード	p.30
6	北アメリカ州のまとめ	大きくとらえた北アメリカ 巨大な産業と経済からみた北アメリカ	白地図上に主な地名や語句を整理する 追究したテーマについて文章でまとめる	p.31

北アメリカ州 ①

北アメリカ州の あらし

●学習のねらい●

日本の25倍をこえる国土面積をもつアメリカ合衆国や、カナダの地形や自然の特徴を理解しよう。

北アメリカ州は、北極海から北緯10度付近のパナマまでにおよぶ地域で、カナダやアメリカ合衆国、メキシコ、キューバやカリブ海の島からなる国々があります。北アメリカ大陸の地形は、東部から南部にかけての海岸沿いの平野、アパラチア山脈、内陸の低地と高地、ロッキー山脈、山間部、太平洋岸に大きく区分されます。

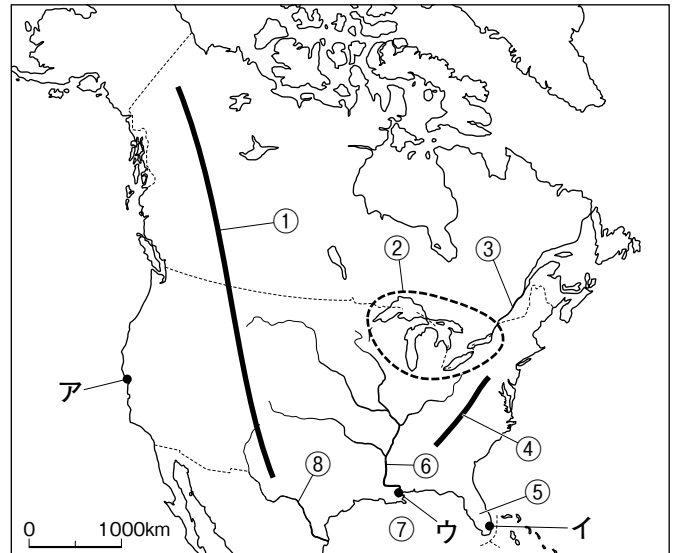
北アメリカ大陸の大きな川には、それぞれ特徴があります。セントローレンス川から五大湖にかけては、重要な交通路として水運が利用され、植民地としての開発が始まったところから利用されてきました。また、多くの支流と合流するミシ

シッピ川は、アメリカ合衆国の南北方向の交通の軸となっています。そして、リオグランデ川は、アメリカ合衆国とメキシコの国境を流れています。

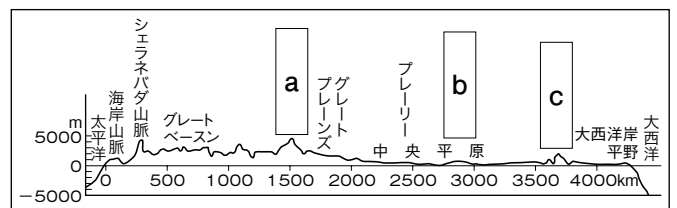
北アメリカ大陸の気候は、熱帯から寒帯まで、湿潤な地域から乾燥した地域までバラエティに富んでいます。西経100度の経線がほぼ年降水量500mmの線と重なり、東半分は湿潤な地域で森林がみられ、西半分は乾燥した地域で草原がみられます。また、南西部には砂漠となっている地域があります。さらに、大陸西岸に位置するカリフォルニア州では、温暖で冬に降水量が多い地中海性気候の地域もみられます。

課題 1 次の①～⑧は、右の地図中の①～⑧の地形について説明した文です。①～⑧の()に入る地形名を答えてみよう。

- ① 高い山々が続く()山脈
- ② 5つの湖が連なる()湖
- ③ カナダとの国境を流れる()川
- ④ 森林が多くなだらかな()山脈
- ⑤ 一年中暖かい()半島
- ⑥ 北アメリカ大陸一長い()川
- ⑦ 湾岸に油田がある()湾
- ⑧ メキシコとの国境を流れる()川



課題 2 右は、北緯40度付近で北アメリカ大陸を東西に切ったときの断面図です。課題1を参考にしながら、a～cにあてはまる地形名を答えよう。



a	b
c	

課題 3 上の断面図をみると、北アメリカ大陸の西側に高い山脈がみられます。その理由を「造山帯」という言葉を使って答えよう。

課題 4 上の地図中に西経100度の経線を記入してみよう。また、次のア～ウは地図中のア～ウの都市名とその年降水量(mm)を表しています。このデータから、大陸の東部と西部の気候のちがいについて考えてみよう。

ア	サンフランシスコ	500.9
イ	マイアミ	1403.2
ウ	ニューオーリンズ	1637.5

北アメリカ州 ②

北アメリカ州の歴史と人々

●学習のねらい●

北アメリカ州には多様な人々が生活しているが、その歴史的な背景を理解しよう。

かつて、北アメリカ大陸では、ネイティブアメリカン（インディアン）やイヌイトなどの先住民が豊かな自然とともに暮らしていました。しかし、1492年にコロンブスが「新大陸」を「発見」した後にやって来たヨーロッパの開拓民は、先住民から土地を奪い、それぞれの自然環境に応じた農地や牧草地へと変えていきました。また、アメリカ合衆国の南部では広大な綿花畑がつくられ、その労働力としてアフリカ大陸から多数の黒人奴隷を連れてきました。

一方、メキシコ以南は、おもにスペイン（ラテン民族）の植民地となったことからラテンアメリカとよばれます。それに対して、アメリカ合衆国とカナダはお

もにイギリス（アングロ・サクソン民族）の植民地となったためアングロアメリカとよばれます。最近増加している、ラテンアメリカからアングロアメリカへの移住者は、大部分がスペイン語を話すので、ヒスパニックとよばれています。

さまざまな地域の出身者からなるアメリカ合衆国は、それぞれの人種や民族のちがいを尊重しながら共存していこうとしています。2009年にはバラク・オバマが黒人として初めて大統領に就任しましたが、大都市のスラムには低所得の黒人やヒスパニックが多く住み、郊外の住宅地には高所得の白人が住むという光景は、両者の間にある明確な格差を物語っています。

課題 1 右の年表の①～④の（ ）に言葉を入れて、アメリカ合衆国のあゆみをまとめてみよう。

年代	主なできごと
1492年	探検家 (①) の西インド諸島到達
17世紀初め～	(②) 人の移民, 植民地建設
1776年	独立宣言, 西に向かって (③) の進行
19世紀半ば	アジア系移民の増加
近年	スペイン語を話す (④) の急増

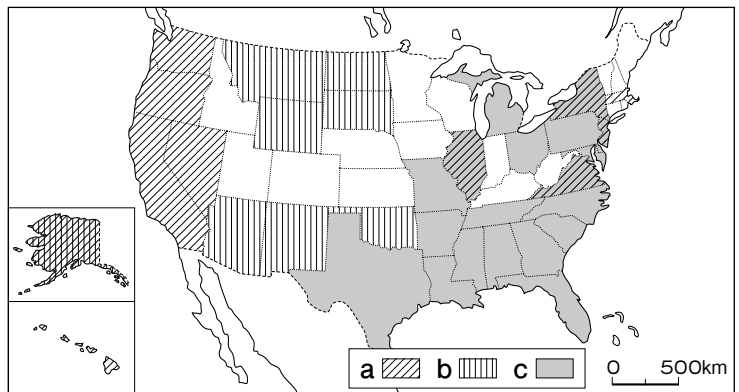
課題 2 現在のアメリカ合衆国の国旗（星条旗）のデザインを下に簡単にかいてみよう。また、デザインの意味を考えてみよう。



デザインの意味

課題 3 右の地図のa～cのうち、アフリカ系（黒人）住民の比率が10%以上の州を示しているのはどれでしょうか。一つ選んで、記号を答えよう。またそれを選んだ理由も書いてみよう。

記号
理由



課題 4 アメリカ合衆国の13の州が独立したとき、「アメリカ諸国連合」という意味で「ユナイテッド・ステイツ・オブ・アメリカ」(USA) という国名になりました。これは「合州国」という意味ですが、日本語で一般には「合衆国」と表現するのはなぜか、考えてみよう。

北アメリカ州 ③

北アメリカ州の農業生産

●学習のねらい●

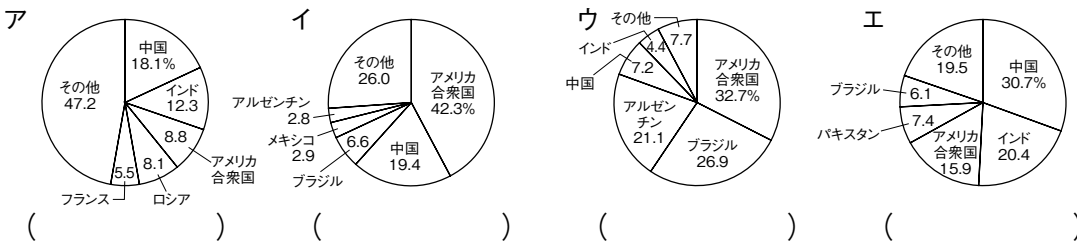
さまざまな農作物を大量に生産するアメリカ合衆国の農業の特徴を、地図を用いて理解しよう。

アメリカ合衆国は、だいず・とうもろこしの世界一の生産国です。いずれも基本的な食料です。穀物の輸出は、穀物メジャーとよばれる巨大な商社によって行われ、同時に全世界の穀物市場は彼らの影響下にあります。

また、自然条件に合わせて農作物を栽培する方法は適地適作とよばれ、広大な土地をもつこの国の農業の特徴です。かつて多くの黒人労働力を使っていた南部の綿花地帯（コットンベルト）では、現在は綿つみが機械化されています。西経100度線付近に広がるプレーリーは小麦地帯となっており、第二次世界大戦後、余った小麦を消費するため、日本の給食用のパンの原料として輸出されたことが

知られています。プレーリーの東に広がるとうもろこし地帯（コーンベルト）では、グレートプレーンズの牧場から牛を買い付けてきて太らせ、家畜市場に出荷しています。この地域ではだいずも生産され、どちらも家畜の飼料として主に生産されていました。しかし近年、生物資源からつくるバイオ燃料の工場がコーンベルトに多く建設され、とうもろこしやだいずが値上がりし、世界中の食卓に影響を与えることもあります。大西洋沿岸の大都市の周辺では酪農や野菜の栽培が行われています。特に、カリフォルニア州では雨が少ないため、かんがい設備を備えた大農場で、果物や米がつくられています。

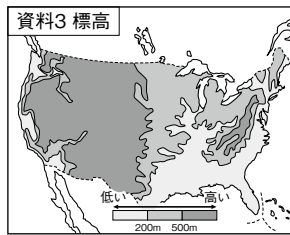
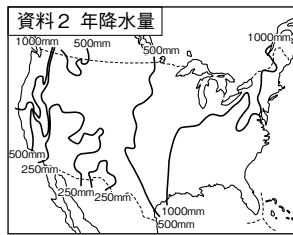
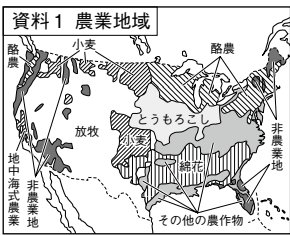
課題 1 次のア～エは、それぞれある農作物の生産国の割合を示しています（2007年）。それぞれの作物名を下の□から選んで（ ）に答えよう。



だいず
とうもろこし
綿花
小麦

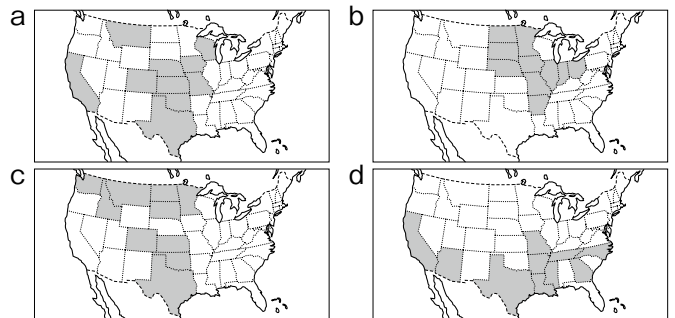
(「FAOSTAT」より)

課題 2 次の資料1は合衆国の農業地域を示したものです。放牧が行われている地域の特徴を資料2・資料3から読み取って書いてみよう。



課題 3 右の地図のa～dは、それぞれ小麦、だいず、綿花の生産量と牛の飼育頭数の多い10州のいずれかを示しています。だいずにあてはまるものを選んでみよう。また、選んだ理由を書いてみよう。

記号	理由



(「FAOSTAT」より)

課題 4 だいずの生産量が多い州では、バイオエタノール工場が多く建設されています。バイオ燃料の生産がさかんになることによって、食料生産にどんな影響を与えられらるか、考えてみよう。

北アメリカ州 ④

北アメリカ州の工業と技術

●学習のねらい●

アメリカ合衆国において工業がさかんな地域の移り変わりを、地図を用いて理解しよう。

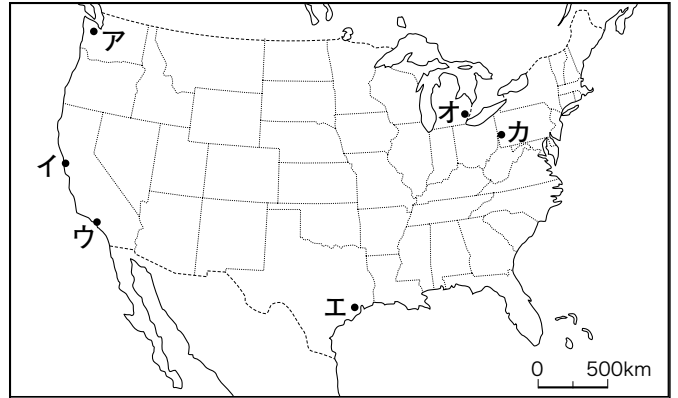
原料や資源にめぐまれたアメリカ合衆国は、20世紀には世界最大の工業国となりました。機械化が進み、流れ作業による大量生産のしくみが発達し、デトロイトとその周辺は自動車工業が発展しました。自動車の原材料として用いられた鉄鋼は、ピッツバーグなどで生産されました。これらの都市が位置する合衆国東部の五大湖沿岸から太平洋岸北東部にかけての地域は、北アメリカで最も古い工業地域です。一方、西部は工業のおくれた地域でしたが、第二次世界大戦中にロサンゼルスやシアトルなどの太平洋岸で、戦争に必要な飛行機の生産がさかんになり、発展のきっかけとなりました。また、南部ではメキシコ湾岸で産出され

る石油を利用した石油化学工業、さらにはヒューストン周辺やフロリダ半島などでは宇宙産業が発達しています。

近年、この国の工業で最も世界に影響力をもつのは、1990年代以降、IT革命をおし進めたコンピューター産業に代表される先端技術産業です。これらの巨大企業、多国籍企業は世界的な規模で活動しています。集積回路などをつくる先端技術産業の集積地となっているサンフランシスコ南部の地域はシリコンバレーとよばれ、世界各地から優秀な人材が集まり、研究開発が進められています。北緯37度以南のサンベルトとよばれる地域を中心として、この国の工業はグローバル化する世界経済をリードしています。

課題 1 次の①～③の文章にあてはまる都市はどこか答えよう。また、その位置を右の地図中のア～カから一つずつ選び、記号で書こう。

- ① 航空機工業が発達し、ハリウッドの映画産業も有名である。都市名（ ）・記号（ ）
- ② 近郊のシリコンバレーには先端技術産業が集積している。都市名（ ）・記号（ ）
- ③ 古くからある工業地域に位置し、自動車工業が発達している。都市名（ ）・記号（ ）



課題 2 次の表は、プロ・スポーツチームの本拠地を表しています。①～③の都市はそれぞれどこか、下の〔ヒント〕を参考にしながら答えよう。また、その位置を上の地図中のア～カから一つずつ選び、記号で書こう。

都市名	・ 記号	プロ野球メジャーリーグ	プロバスケットボール	プロフットボール
①	・	パイレーツ	—	スティーラーズ
②	・	アストロズ	ロケッツ	テキサンズ
③	・	マリナーズ	スーパーソニックス	シーホークス

〔ヒント〕 スティーラーズは「鋼鉄の人たち」、アストロズは「宇宙飛行士」、スーパーソニックスは「超音速航空機」という意味。

課題 3 鉄鋼業や機械、自動車などの産業は、アメリカ合衆国の中ではどのような地域に分布しているか、地図帳から読み取ってみよう。またそれはなぜだろうか、考えてみよう。

課題 4 化学工業は、アメリカ合衆国の中ではどのような地域に分布しているか、地図帳から読み取ってみよう。またそれはなぜだろうか、考えてみよう。

北アメリカ州 ⑤

北アメリカ州の経済と文化

●学習のねらい●

アメリカ合衆国の経済力の大きさとともに、**多国籍企業**が世界に与える影響を理解しよう。

アメリカ合衆国とカナダ両国の経済は、世界全体のGDPの約3割をしめており、EU、日本をふくめた東・東南アジアとならび、世界経済の三極構造の一つをなしています。経済面の強化を旨とする合衆国は、1994年にカナダ、メキシコとの間にNAFTA(北米自由貿易協定)を結びました。これは、この地域が一つの経済圏にまとまることで、労働者を移動しやすくしたり、関税を引き下げて輸出を増やしたりすることで、EUや日本に対抗することを旨とするものでした。

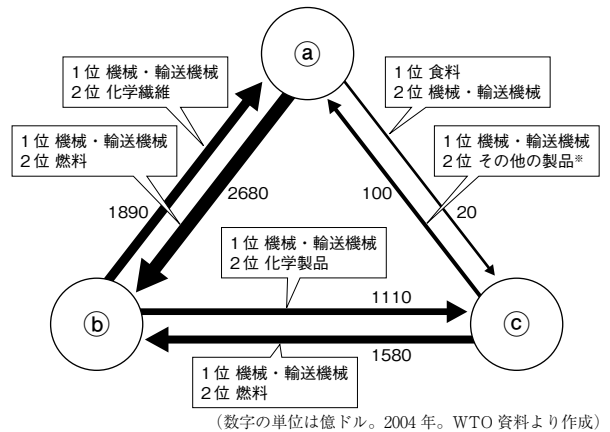
また、ドルは国際通貨として広く流通しており、合衆国の経済の動向が世界各国の経済に大きな影響を与えます。2008年にはサブプライムローン(低所得者を

対象とする住宅ローン)の破たんが世界的な不景気を引き起こしました。合衆国の景気悪化が日本経済に直接的に影響することを、「アメリカがくしゃみをする^{かいたくしゃみ}と日本はかぜをひく」と例えることもあります。

第二次世界大戦後、世界中に広まったファストフードは、忙しい開拓者に加工保存食がもてはやされたところから、発達してきたものです。また、コンビニエンスストアやショッピングセンターは、自動車が欠かせない合衆国の生活の中で生まれ、日本にも広まりました。しかし一方で、このようなアメリカ文化が世界に広まることで、各地の伝統的な文化が失われることも心配されています。

課題 1 右の図は、アメリカ合衆国・カナダ・メキシコの3か国間の貿易関係(貿易額第1位、第2位の品目)を示したものです。①～③のうちアメリカ合衆国はどれか答えよう。

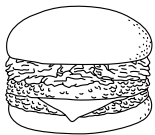
()



課題 2 アメリカ合衆国のあるハンバーガーチェーンの世界展開に関して、次の資料から読み取れる工夫を書いてみよう。

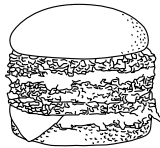
ご当地バーガー

韓国(キムチバーガー)



プルコギバーガーもある

インド(マハラジャバーガー)



羊肉を使ってある。ほかに菜食主義者用もある

課題 3 次の文章を参考にして、ファストフードがもつ問題点について、あなたの考えを書いてみよう。

「アトランタの薬剤師ベンバートンが、自己流に調合した飲料水売り出したところ、売れに売れた。100年あまり前の話で、薬局をたたんで設立したのがコカコーラ社の起こりである。コカコーラは0.2%の原液と99.8%の水、それに砂糖からなっているといわれるが、原液の組成は秘中の秘とされる。日本コカコーラはコカコーラ社が100%出資してつくった会社である。

アメリカの巨大企業のなかには、鉄鋼や自動車のように日本やヨーロッパの企業との競争に敗れて、業績を大きく低下させた業種もある。しかし、マクドナルド社やケンタッキーフライドチキン、コカコーラの各社は日本のみならず、世界各地に子会社をつくって進出している。このほか、ダンキンドーナツ、ピザハット、ペプシコーラなどアメリカの外食産業・飲料メーカーの海外進出が目立っている。食を通じて、アメリカは世界の人々を支配下に組み入れているといってもよいだろう。」
 (小島晃ほか『地球を旅する地理の本⑥北アメリカ・オーストラリア』より)

北アメリカ州 ⑥

北アメリカ州の まとめ

●学習のねらい●

北アメリカ州の特徴を地図で確認しながら、キーワードをまとめ、北アメリカ州の全体像をつかもう。

アメリカ合衆国とカナダ、メキシコからなる北アメリカ州の東部にはなだらかなアパラチア山脈が、西部には険しいロッキー山脈が南北につらなっています。2つの山脈の間に広がる広大な平原にはミシシッピ川が流れ、メキシコ湾に注いでいます。

アメリカ合衆国の大きな特徴として、国民の大半は移民をルーツにもつことが挙げられます。黒人の多くはアフリカ大陸から奴隷として連れてこられた人々の子孫です。近年はアジアからの移民やヒスパニックが増加しています。また農業では、適地適作が特徴で、西経100度の

線とほぼ一致する年降水量500mmの線を境にして、西側の放牧地域と東側の農業地域に大きく分けられます。さらに工業では、恵まれた資源によってかつては大きく発展した北部の工業地域は衰退しはじめており、かわりに北緯37度以南のサンベルトとよばれる地域が発展しています。特に、半導体関連の産業が集積しているシリコンバレーには、世界各地の技術者が集まっています。また、海外にいくつも活動拠点をもつ多国籍企業の本社はアメリカ合衆国に多くみられ、世界経済に大きな影響をあたえています。

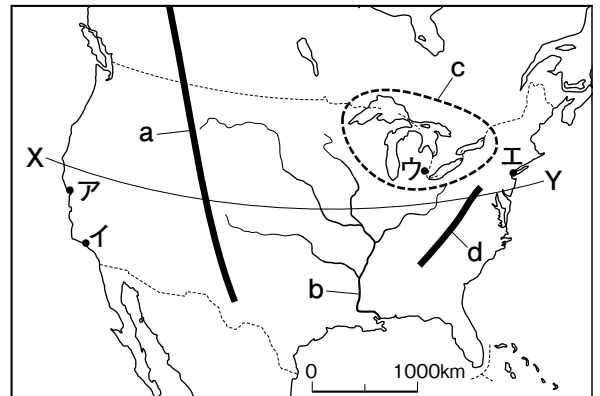
課題 1 右の地図を見ながら、以下の作業をしてみよう。

① 地図中の a～d について、地形名を記入しよう。

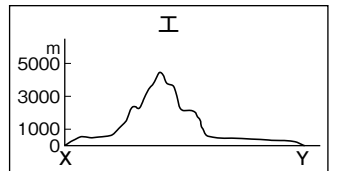
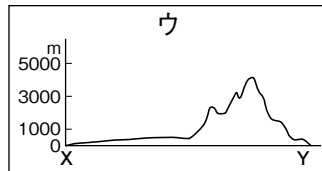
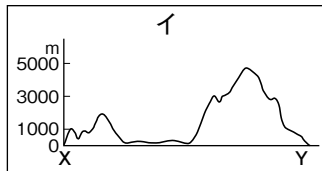
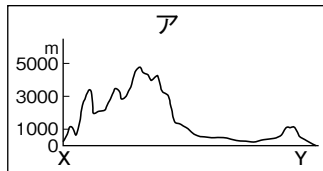
a	山脈	b	川
c	湖	d	山脈

② 地図中のア～エについて、都市名を記入しよう。

ア	イ
ウ	エ



③ 地図中の X - Y の断面図として正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で書こう。 ()



課題 2 今まで学習してきたキーワードについて、ワークシートで確認しながら答えてみよう。

- かつてアフリカ大陸から奴隷として連れて来られた人々とその子孫の人種。
- 近年急増しているメキシコなどから流入して来たスペイン語系の移民。
- アメリカ合衆国の農業の特徴として知られる、気候などに合わせて適した作物を大量につくるしくみ。
- 1970年代以降に工業が発達した、アメリカ合衆国の北緯37度以南の地域。
- サンフランシスコ近郊にある、コンピューター関連の工場や研究所が集積している地域。
- アメリカ合衆国に本社がおかれることが多い、世界中で経済活動を行う企業。

①
②
③
④
⑤
⑥

課題 3 ワークシートをもとに北アメリカ州のようすについて学んできました。あなたが最も関心をもった内容を新聞にまとめるとき、どんな見出しをつけますか。また、記事の要約も合わせて書いてみよう。

見出し：
要約：